

1.令和2年度にぎわい交流館運営実績について

(1) 会議室等運営実績について

当年度の会議室の利用人数は7,447人で、前年度に比べ17,330人、69.9%の減少でした。また利用件数は1,346件で、前年度に比べ660件、32.9%減少でした。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言の発出により、4月3日(金)～5月31日(日)まで休館、8月13日(木)～24日(月)にはお盆期間の公共施設における感染防止対策のため、サロンの利用休止と会議室の新規受付を停止しました。また、1月18日(月)～3月7日(日)(2月7日(日)予定が延長)は、館内の利用時間を20時までや21時までといった短縮開館となりました。

会議室予約に関しては、先行予約を電話でのみ受け付け、希望が重なった場合は抽選、という新規ルールを設けましたが、システムは定着してきました。

また、1件あたりの利用人数は5.5人で、前年度(12.4人)より約半減しました。会議室利用がなかった日は年間の開館日では14日間で前年(9日間)より増加しました。会議室を1回以上利用した登録団体は117団体で、前年度より50団体減少しました。

印刷機の利用件数は195件で、前年度556件に対して65%の減少でした。

当年度はコロナ禍での利用制限がある中、厳しい施設運営となりました。利用に関しての大幅な減少は、会議室の利用ルールの変更や活動自粛の影響が主な原因と考えています。

会議室の利用ルールとして、定員を従来約1/3とした「6月開館からのルール」、感染症対策に関しての基本的な周知が行き届いたことから市内公共施設と横並びになるように定員を約1/2とした「1月からのルール」のもとで運営しました。その結果、1月以降ではそれぞれ利用率の増加が見られました。

利用者は激減しましたが、状況に応じてルール変更を行いながら、三密の回避など必要な感染症対策を行い安全な運営ができました。今後も、状況を見ながらより多くの団体が利用できるよう、支援に努めていきます。

(1) 会議室等利用状況について (R2年4月～R3年3月)

	R2年度	R1年度
会議室利用人数	7,447人	24,777人
利用件数	1,346件	2,006件
利用率 (1件以上の利用があった割合)	午前 34.0%	午前 91.3%
	午後 35.3%	午後 95.5%
	夜間 19.8%	夜間 78.2%
会議室利用団体数	117団体	167団体
1件あたりの利用人数	5.5人	12.4人
印刷機の利用件数	195件	556件

		会議室 ABC	会議室 D	和室	合計
利用 人数 (人)	R2 年度	5,642	1,430	375	7,447
	R1 年度	13,955	6,298	4,524	24,777
	前年比	40.4%	22.7%	8.3%	30.1%
利用 件数 (件)	R2 年度	749	450	147	1,346
	R1 年度	786	719	501	2,006
	前年比	95.3%	62.6%	29.3%	67.1%

利用率	会議室 ABC			会議室 D			和室			会議室全体			印刷室
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
R2 年度 4~12 月	48.1%	42.5%	22.2%	20.0%	27.1%	6.4%	6.1%	4.7%	4.5%	39.4%	40.3%	26.9%	27.6%
R2 年度 1~3 月	44.6%	48.8%	11.6%	37.2%	42.2%	6.6%	16.3%	14.3%	1.2%	28.7%	30.2%	12.8%	10.1%
R2 平均	46.3%	45.6%	16.9%	28.6%	34.7%	6.5%	11.2%	9.5%	2.8%	34.0%	35.3%	19.8%	18.8%
R1 年度	75.1%	86.6%	59.4%	72.0%	86.6%	52.4%	64.7%	74.2%	37.8%	91.3%	95.5%	78.2%	—

※R1 年度は年間の利用率算定はしていない。

<感染症対策ルール>

○6~12 月：ABC 会議室 15 名・D 会議室 5 名・和室 4 名

午前 ①9:00~10:30②11:00~12:30 / 午後 ③13:30~15:00④15:30~17:00 /

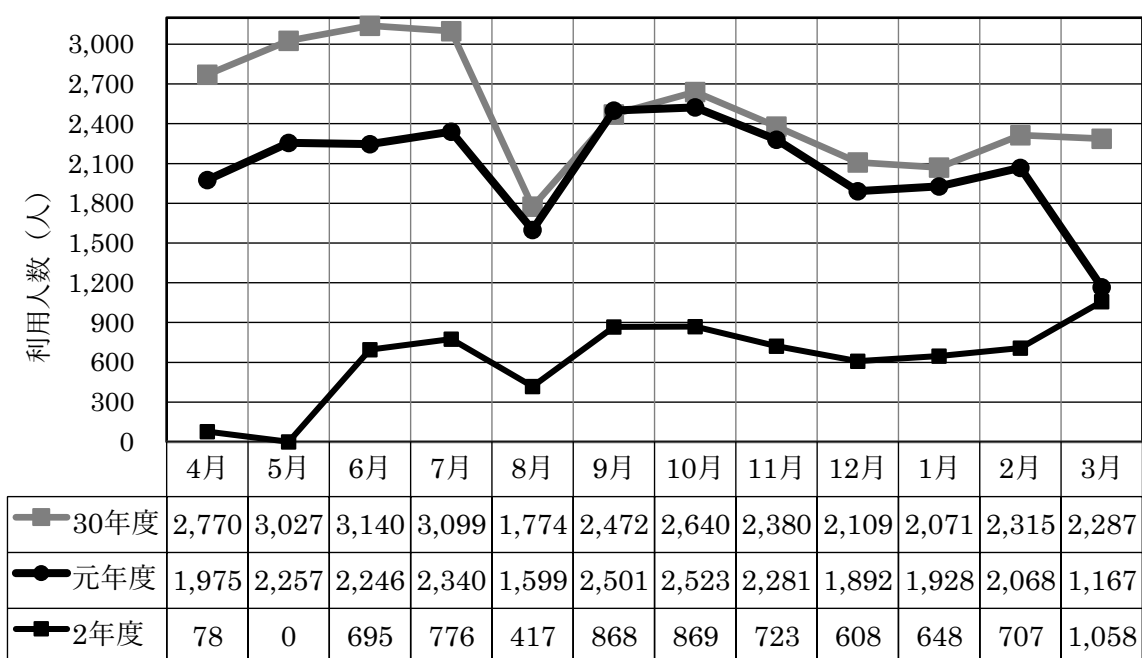
夜間 ⑤18:30~20:00⑥20:30~22:00

○1~3 月：ABC 会議室 25 名・D 会議室 8 名・和室 8 名

午前 ①8:30~10:00②10:00~11:30③11:30~13:00 / 午後 ④13:00~14:30⑤14:30~16:00⑥16:00~17:30 /

夜間 ⑦17:30~19:00⑧19:00~20:30⑨20:30~22:00

会議室利用人数の推移



(2) 市民サロン運営実績について

ワンデイシェフによるランチに関しては、新型コロナウイルス感染症対策のため前年度3月から飲食提供を休止したことから、本年度の提供食数は0食でした。前年から1団体が減り、8団体が今年度当初は継続の意思を示してくれましたが、一年に及ぶ休止の影響で来年度ワンデイシェフとして活動継続する意向のある団体は、3団体にまで減少しました。

また、**日曜日・祝日などの喫茶提供**を、にぎわい交流館の自主事業として平成27年度から継続実施していましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で実施できなくなり、蓋付の飲み物（ペットボトル）を販売する「**にぎわいドリンク事業**」に切り替えて運営しています。

マーケットは、前年から1団体減り、今年度分として7団体の応募がありました。新型コロナウイルス感染症対策のため、4・5月休館明けからマーケットの再開をしましたが、本年度は2団体利用となりました。来館者の減少が見込まれるなどの理由で、残りの5団体はそれぞれ応募や申請・許可証発行までにとどまり、マーケットの利用はありませんでした。

ランチコンサートの令和元年度は96回の開催がありました。本年度は新型コロナウイルス感染症対策のためにワンデイシェフのランチ提供を休止したことや、三密の回避・飛沫感染等による感染拡大防止のため、開催することができませんでした。

ギャラリーは、展示の実施は14回となり、前年度（26回実施）と比べると展示回数は半減しました。4・5月の休館や、ランチの休止、不要不急の外出自粛、搬入搬出時の混雑緩和等に鑑みた月2回の展示方法の変更などが原因と考えられます。開催回数は減りましたが、三密になることはなく、長期間来館者の目に留まることができました。

展示スペースが空いている時期には、出展者との話し合いにより期間を延長して展示してもらうなど、施設の有効活用も継続して努めています。

ギャラリー（件）		
	R2年度	R1年度
4月	0	2
5月	0	0
6月	1	3
7月	2	3
8月	1	3
9月	1	1
10月	2	1
11月	1	3
12月	2	2
1月	0	1
2月	1	4
3月	3	3
合計	14	26

(3) 登録団体数について

日進市市民活動団体登録の数は令和2年度3月末時点で329団体であり、前年度末に比べて7件の微増となりました。平成29年度に行った登録更新による減少の後、順調に団体登録が増えました。当年度は団体の活動自粛等もありましたが、年度内の取消を望まれる団体は3件にとどまりました。継続意向調査を行う年度でしたが、登録更新アンケートによると令和3年3月31日(水)をもって登録取消の意向のあった団体は70団体程度でした。

新規登録団体の主たる活動分野は「学術・文化・芸術・スポーツ」(3団体)、次いで「保健・医療・福祉」「環境保全」(2団体)となりました。

団体数(団体)	新規登録	登録取消	差引増減	年度末団体数
平成28年度				301
平成29年度	35	65	-30	271
平成30年度	39	11	+28	299
令和元年度	25	2	+23	322
令和2年度	10	3	+7	329

(4) 相談件数について

本年度に対応した相談件数は263件でした。前年度(186件)に比べて41%増加しました。

相談者の内訳をみると、「登録団体」が最も多く、41%を占めました。

相談件数が落ち込んでいた前年度に比べ、件数としては大幅に増加しましたが、緊急事態宣言に伴う休館や、感染症対策ルールにおける施設利用、寄附についてなど、実質的には相談というよりも問い合わせが多くありました。

相談内容の内訳は、「館の運営・事業について」が最も多く28%、次いで「施設利用・団体登録したい」が18%でした。

- ・新型コロナの影響で開館運営に関する質問や相談が多くありました。
- ・会議室の利用をしたいという相談はいくつもありましたが、登録の要件に合わない場合も多かったです。他の公共施設がワクチンの接種会場となった影響で会議室の利用ができるかという相談もあり、登録に結び付いた団体もありました。

相談者			相談内容		
	人数(人)	割合		件数(件)	割合
登録団体	107	40.7%	館の運営・事業について	74	28.1%
市民	91	34.6%	施設利用・団体登録したい	48	18.3%
行政・学校等	33	12.5%	講座や団体を探している	30	11.4%
未登録の団体	20	7.6%	団体について知りたい	26	9.9%
その他	12	4.6%	その他	85	32.3%

(5)主な事業の実施報告

【委託事業】

	事業名	日程	参加者数等
1	にしんわいわいフェスティバル啓発周知業務	令和2年8月～令和3年1月	掲載団体 61 団体 B2 ポスター 200 枚 クリアファイル 200 枚
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった、2020 わいフェスの啓発及びその周知の為の啓発資材の作成を行った。令和元年に出展もしくは令和2年に出席希望だった団体を紹介するカレンダー付のポスター及びクリアファイルの作成及び配布を行った。		

【受託事業】

	事業名	日程	参加者数等
2	・にしんわいわいフェスティバル実行委員会事務局 ・にしんわいフェスカレンダー2021（全戸配布）	会議等は通年 【中止】令和2年7月4日（土）	《令和2年度開催》 実行委員 12 人 A2 ポスター掲載団体 61 団体 《令和3年度開催》 実行委員 11 名、出展申込 48 団体（3/31 時点） 《カレンダー》 発行部数 40,500 部
	<p>・市民活動団体等が主体的に関わるイベント開催のため、実行委員会（全体会・部会）の運営、出展団体の取りまとめ、経費精算をはじめとする諸業務を行った。</p> <p>・4月の段階で2020年度のわいフェス中止が決定したことで、代替事業としてカレンダーの全戸配布を行った。</p> <p>・9月以降は、令和3年度の開催に向けた実行委員会を運営している。</p>		
3	にぎわいNEWS 発行 (Vol. 20・21)	令和2年 6月 10月	発行部数 各 3,500 部 掲載団体 2 団体
	<p>Vol. 18…日進市地域女性団体連絡協議会 佐藤里美さん、愛知池友の会</p> <p>Vol. 19…にぎわい交流館 15 周年</p> <p>市民活動に関心を持ってもらうため、市民向けの情報紙を発行した。Vol.18 は特集としてインタビュー記事を中心に構成。Vol.19 はにぎわい交流館 15 周年の節目に合わせ、当館を改めて知ってもらえる記事とした。当初計画通り 2 号発行した。</p>		

	事業名	日程	参加者数等
4	広報にしん記事制作	令和2年 8月号 令和3年 3月号	掲載団体 3団体
	<p>市民活動・SDGsに関心を持ってもらうため、市民向けの啓発記事を制作した。</p> <p>8月号…にしんわいわいフェスティバル実行委員会</p> <p>社会福祉法人あじさいの会ゆったり工房を特集予定だったが、感染症対策の為取材が中止。2020年7月に中止となったにしんわいわいフェスティバルの取り組みを取り上げた。わいフェス実行委員会のメンバーによる市民活動のはじめの一步を紹介した。</p> <p>令和3年3月号…当初予定のゆったり工房とスペシャルニーズの子ども達と共に育む会スマイルの2団体を掲載した。</p>		
5	はじめての Zoom 講座	令和2年10月9日(金)	参加者 10人
	<p>三密を避けた活動が社会的に求められていることを踏まえ、団体の活動を継続・再開できるよう、オンライン上でミーティングやイベントを行う方法を参加形式で実践した。</p>		
6	専門家コーディネート事業(定期相談:はじめてのNPO会計講座)	令和2年11月18日(水)	参加団体 6団体
	<p>会計報告の方法がわからない・はじめて会計報告を作るという団体向けに、専門家による講演とあわせた相談会を設定し、初心者向けの学びの場を提供した。</p>		
7	にぎわいメルカリ講座 【中止】にしん市民まつり (にぎわい交流館ブース)	令和3年1月29日(金) 【当初予定】 令和2年11月15日(日)	参加者 5人
	<p>にしん市民まつりにおいて、団体が活動紹介したり資金調達したりする機会として、にぎわい交流館ブースを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。団体の活動資金を得るための代替手段として、家庭の不用品等をメルカリで販売する方法をお伝えした。</p>		
8	【中止】木祖村フェア	【当初予定】令和2年8月	
	<p>ワンデイシェフの利用促進、友好自治体 木祖村との交流のため、木祖村の夏野菜を使ったメニューを提供する取り組み。木祖村観光協会による産直フェア、加工食品の受託販売など友好自治体のPRを予定していた。新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止のため中止。市民協働課によるギャラリー展示のみ12月に開催があった。</p>		
9	【中止】志摩市フェア	【当初予定】令和3年2月	
	<p>志摩市商工会による物産販売など友好自治体のPRを行う予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。市民協働課によるギャラリー展示のみ開催があった。</p>		

	事業名	日程	参加者数等
10	オンライン場づくり一年生	令和3年2月21日(日) 3月7日(日)同窓会	50名(うち当日参加21人) 動画視聴回数128回(期間限定)、同窓会7人
	家庭や社会の課題を解決するための対等で建設的な対話の技術を学ぶ、オンラインの場づくり講座。定員を大幅に超える参加希望があった。他市町からの問い合わせもあり、交流の場を持つ機会にもなった。Zoom講座とともにまた参加したいという声も多かった。		
11	イベントカレンダー【中止】	通年	
	登録団体やにぎわい交流館が実施する一般向けのイベント情報を集約し、月1回市内公共施設に設置する予定だったが、コロナ禍でイベントがほぼなくなり、止むを得ず発行を休止した。		

【自主事業】

	事業名	日程	参加者数等
12	にぎわい夢まつり【中止】	【中止】令和2年9月20日(日)	
	「にしん夢まつり」に合わせて開催し、団体が活動紹介したり、資金調達したりする機会として開催を予定していた。新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止のため中止。		
13	事業報告・説明会	令和2年10月29日(木) 11月10日～(動画配信)	直接参加0名 リアルタイム配信3人 資料配布5部 動画視聴108回(4月末)
	登録団体に対して、にぎわい交流館の前年度の事業成果について報告するとともに、本年度の事業計画について説明し、情報共有・意見交換を行うとともに、団体同士の交流を図った。当初計画(7月)より時期を変更、事業変更が出そろった10月に開催した。		
14	休日の喫茶提供【中止】	通年	
	来館者の増加につなげるため、ワンデイシェフが活動していない日曜・祝日等に喫茶を提供予定だったが、感染症対策のため休止した。		
15	にぎわいドリンク	令和2年6月～	提供956杯(304日間)
	新型コロナウイルス感染症対策のため、喫茶やお茶の提供が休止となったことから飲料への需要が高まり、館内外での熱中症・脱水対策のために蓋つき飲料の販売を行った。		

その他特記事項

○にしん観光まちづくり協会理事会

理事として理事会（令和2年4月20日（月）（書面議決による総会）、令和3年3月17日（水））に出席しました。

○日進市ボランティアセンター運営委員会（社会福祉協議会）

運営委員として委員会（令和2年6月3日（水）、令和3年2月24日（水）（書面表決））に出席しました。

○子どもの支援を考える会（にこさぼ）

本年度より不定期開催となりました。メンバーとして会合に出席（9月25日（金）Zoomによる懇談会）し、事業に協力しました。メールによる情報共有や体制についての検討は継続しています。

○日進市ボランティアセンター（社会福祉協議会）担当者との定期的な情報交換

月に1回定例会議を設け、事業、相談などの情報交換を行いました。

本年度より市民協働課と生涯学習課にも情報提供し、互いの事業把握に努めています。

※8月・11月は都合により中止。

○とよしん財団表彰の推薦（4団体）

豊田信用金庫よりとよしん財団の表彰推薦に協力しています。本年度は、4団体を推薦し、愛知池友の会、日進・東郷おやこ劇場が表彰されました。

○愛知学院大学総合政策学部村田ゼミへの協力

- ・10月1日（木）市民活動についての説明
- ・11月17日（火）卒論のためのヒアリング（増田さん）
- ・11月20日（金）卒論のためのヒアリング（田中さん他一名）

○環境課によるエコモビ推進キャンペーン：12月1日（火）～27日（日）

くさりんばすを使おうキャンペーンでにしん環境まちづくりサポーターズポイントを配布。

○市民協働課自治振興係、大学のボランティアセンター等との不定期の情報交換

市民協働課自治振興係の担当者と、地縁団体の状況について情報交換を行い、5～6月に市内全19区へのにぎわい交流館のPRを行いました。

名古屋学芸大学サービスラーニングセンターとも随時情報交換を行い、わいフェスなど事業に協力していただいています。

○第11回にしん緑のカーテンコンテスト公共部門優秀賞受賞

その他、登録団体や関係各所からのチラシの配架、団体書庫の管理（登録団体のチラシなどの資料をファイリングしてカウンター下に配架）、玄関口に設置した掲示板の管理、メールマガジン配信（月2回配信。NPO法人サンコムネットに一部委託）、人権・男女共同参画情報スペースの管理などを行いました。

2. 令和 3 年度にぎわい交流館運営計画について

(1) ビジョンと長期成果

運営の指針として、平成 29 年度から掲げてきたビジョンと、その達成のためのロジックモデルを引き続き使用します。令和 2 年度は、感染症対策のため多くの事業が変更または中止となりました。令和 3 年度もまた、感染症の流行により大きなイベントの開催が危ぶまれています。しかしながら、市民活動の市民への参加促進・啓発を止めないために前年度までの事業形態を踏襲・改良しながら団体や市民のニーズに沿った事業を実施していけるよう、尽力いたします。

また、地縁型団体との連携も模索し、大学・学生団体の支援・連携なども意識した運営を行います。

ビジョン等は令和 3 年度に見直しを行う予定でしたが、感染症対策で館内の利用方法等変更を重ねている状況です。NPO の支援についても、ニーズや方法がコロナ禍や時代の流れで変わりつつあります。社会情勢も踏まえつつ、県内の NPO 支援センターや中間支援 NPO の意見も参考に、改めて令和 4 年度にビジョン等の見直しを行いたいと考えます。



	長期成果の数値目標 (R3 年度)	直近の実績	所感
A	行政と NPO の協働事業件数※1 90 件	89 件 (H29) 87 件 (H30) 103 件 (R01)	新たな協働を創出する環境づくりに努めたい。実態に近い件数が把握されるようになった。感染症対策の為団体が活動を控える傾向にある。
B	にぎわい交流館登録団体数 270 団体※2	329 団体 (R2 年 3 月)	市内の市民活動団体がゆるやかに増えつつある。

C	ボランティア・NPO 活動への 参加経験のある市民の割合※3 20 %	14.4 % (H28)	女性や高齢者がボランティアより賃金労働に流れている社会情勢があるが、市民への有効なアプローチを模索し続け、市民が参加しやすくなる情報発信や機会づくりを重ねたい。
		14.7 % (H30)	
		15.2 % (R02)	

※1※2 R3年度の目標は第6次日進市総合計画を参考にしているが、コロナ禍で活動できない団体の増加と3年に一度の登録更新手続きもありR3年度開始時点で約70団体が減少したので、目標値を見直した。

※3 市民意識調査（2年ごと実施）の結果。

(2) 受託事業および自主事業

分類	事業名	受託／自主
施設管理・ 利用許可等	会議室、印刷機、団体専用事務室等の利用許可、団体登録 調理室・ワンデイシェフ、マーケット ギャラリー、ランチコンサート 施設管理（清掃、警備など） 人権・男女共同参画情報スペースの管理	受託事業
	(10) 休日の喫茶提供 にぎわいドリンク マスク販売	自主事業
相談窓口	(1) 相談対応 専門家への相談コーディネート	受託事業
	事務支援事業（消耗品販売、データ印刷等）	自主事業
情報収集 および発信	(2) 市民活動、大学・学生団体に関するチラシ等の受付、配架 団体書庫、図書等収集・配架 にぎわいNEWS（2回） (3) にぎわい団体帖（1回） ウェブサイト、メールマガジン (4) イベントカレンダー（月1回） チラシ配送（市民自治活動奨励事業認定制度） キャラクター「わいわい」を利用したPR	受託事業
	SNS運用（Facebook ページ、Twitter）	自主事業
講座・ イベント等	(5) わいわいフェスティバル実行委員会事務局 (6) Zoom 講座（団体向け講座） (7) ファシリテーション講座（市民向け講座） 友好自治体フェア（ランチフェア・産直フェア等）	受託事業

	(8)	にしん市民まつり（にぎわい交流館ブース）	
	(9)	にぎわい夢まつり 事業説明会	自主事業
会議等への参加、関係機関との連携		にしん観光まちづくり協会理事会 日進市ボランティアセンター運営委員会（社会福祉協議会） 子どもの支援を考える会（社会福祉協議会） 日進市ボランティアセンター（社会福祉協議会）、日進市社会福祉協議会 CSW、市民協働課自治振興係、大学のボランティアセンター等との定期または不定期の情報交換	受託事業

※番号のある事業は、次項に説明があります。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の事業展開が予定通りに進捗しない可能性もあります。その際は、実情に即した事業への変更を検討します。

	事業名	実施回数等	受託／自主	対応する長期成果
(1)	専門家への相談コーディネート	通年	受託事業	B
	団体経営や会計・労務・ファンドレイジングなどの専門的な相談について、専門家へ相談しやすい環境を整える。オンデマンド相談（申込に応じて手配）。見直し。			
(2)	にぎわい NEWS	年 2 回	受託事業	C
	市民活動・ボランティアに関心を持ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、市民向けの情報紙や記事を制作する。子育て世代や定年退職世代を主なターゲットとした記事を制作する。継続。			
(3)	にぎわい団体帖	冊子・Web 掲載 1 回	受託事業	C
	市民活動・ボランティアの団体を知ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、にぎわい登録団体の情報を掲載した冊子を制作する。広報にしんからの見直し。			
(4)	イベントカレンダー	月 1 回	受託事業	C
	市民活動・ボランティアに関心を持ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、にぎわいに集まるイベントの情報をカレンダー形式で制作する。ホームページに掲載することでいつでも情報へアクセスできる環境を整える。見直し			
(5)	わいわいフェスティバル 実行委員会事務局	通年（7月3日（土）開催）	受託事業	C
	市民主体のイベント運営のための事務を行う。会議の補助、出展団体募集の受付、パンフレット作成、市との連絡調整など。市民活動団体同士や、企業、大学生や地縁型の団体との連携を図る。また、市民への SDGs や市民活動の啓発を行う。令和 3 年度は Web & 紙面での開催を予定。継続。			

(6)	Zoom 講座（団体向け講座）	1 回程度	受託事業	B
	オンライン上でミーティングやイベントを行う方法を学ぶ講座。令和 2 年度に団体からのニーズを受け、事業変更したものを継続。			
(7)	ファシリテーション講座 （市民向け講座）	1 回程度	受託事業	C
	家庭や社会の課題を解決するための対等で建設的な対話の技術を学ぶ講座。継続。			
(8)	にっしん市民まつり（にぎわ い交流館ブース）	1 回程度	受託事業	B
	にっしん市民まつりにおいて、団体が活動紹介したり資金調達したりする機会を設ける。感染症対策等で中止の場合は、団体の活動資金を得るための代替手段として、メルカリなどオンライン販売の方法を伝える。継続。			
(9)	事業説明会	1 回（上期）	自主事業	なし
	にぎわい交流館の運営方針や事業計画について説明し、参加者の意見を聞く機会を設ける。継続。			
(10)	にぎわいドリンク	通年	自主事業	なし
	館内外での熱中症・脱水対策のために蓋つき飲料の販売を行う。令和 2 年度より継続。			